

2025 年度技能五輪全国大会応援ものづくり魅力発信開催委託業務仕様書

1 趣旨

令和 7 年10月に、第63回技能五輪全国大会（以下「全国大会」という。）が愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）を主会場として実施される。これに伴い、愛知県及び愛知県隣接地域の若年者を主対象として全国大会への来場促進を図るべく、技能並びに全国大会を始めとする技能競技会に関する理解及び関心を深め、技能者応援気運を醸成するための企画を実施する。

本業務は、厚生労働省委託「若年技能者人材育成支援等事業」として、愛知県職業能力開発協会（以下「委託者」という。）が事業者へ委託して実施する。

2 目的

この業務の目的は、次のとおりとする。

(1) 全国大会参観への誘引

日程：令和 7 年 10 月 17 日（金）～20 日（月）

会場：愛知県国際展示場（愛知県常滑市セントレア 5 丁目 10－1）他

参考 <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/gorin/gorinabi.html>（愛知県の Web サイト）

(2) 全国大会、若年者ものづくり競技大会、技能グランプリ及び技能五輪国際大会（以下「全国大会等」という。）に対する理解及び関心の促進

参考 <https://worldskills.jp/>（厚生労働省関係の Web サイト）

(3) 技能に対する理解及び関心を促進し、技能尊重気運の一層の醸成を図り、もって将来のものづくり人材の確保に資する。

3 ターゲット

この業務の主対象は、高校生、中学生、小学生とその保護者等とする。また、その居住又は活動エリアとしては、愛知県及びその隣接地域を想定する。

4 構成

次の業務を実施する。

(1) 当日企画の広告

当日企画への来場誘引のため、各種媒体での広告を行うとともに、委託者にチラシ等を納入する。

(2) 当日企画の開催

ア 要旨

この事業の目的に基づき、全国大会会場にて参加体験型のアトラクションを開催する。

イ 開催方法

この企画は、愛知県労働局産業人材育成課技能五輪・アビリンピック推進室（以下「技能五輪推進室」という。）との併催とする。

（参考）技能五輪推進室 Web ページ <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/gorin/>

ウ 開催日時（予定）

令和 7 年 10 月 18 日（土）午前 10 時から午後 3 時まで

エ 場所

愛知県国際展示場 展示ホールA

〒479-0881 常滑市セントレア5丁目10番1号

当日企画のために使用するエリアは、資料1のとおりとする。なお、技能五輪推進室との今後の調整により、位置及び縦横の距離を変更する場合がある。

オ 技能五輪推進室との調整

この委託業務の遂行に当たり、受託者は、委託者と協力して技能五輪推進室と適時的確な調整を行うものとする。

5 成果目標

当日企画の成果目標は、次のとおりとする。

(1) 参加者数

アンケート回答者数 延べ600人以上

(2) 満足度（又は有意義度）

90パーセント以上

(3) 達成状況の評価

目標値は、後述する事業評価検討会議において、効果検証の指標として使用する。

6 委託業務の範囲

委託業務の範囲は、次のとおりとする。契約後、業務遂行に当たり疑義が生じた場合は、委託者と受託者が協議の上決定する。なお、当該業務に係る総合的な企画及び判断並びに業務遂行管理は、委託者が行う。

(1) ものづくり魅力発信の企画、制作、運営管理及び評価並びにこれらに必要な人員、体制、設備等の確保

(2) 進捗管理・調整（進捗会議等の開催を含む。）

(3) 事業実施計画書等の作成・提出

(4) 運営マニュアル等の作成・提出

(5) 当日企画の広告

(6) 当日企画に係る消防署・保健所・警察署・会場運営事業者等への各種届出

(7) 当日企画の運営

ア ステージ、技の体験ブース、製作体験ブース、展示ブース及び全国大会等PRコーナーのパッケージ、掲示用ボード、電源、看板、机、椅子等必要な設備の確保、搬入、設置

※設備設営については、技能五輪推進室が委託する式典設営業者と適時的確な調整を行うこと。

イ 高校生によるものづくり体験（以下「高校生ものづくり体験」という。）エリア内ブースの電源、机、椅子等必要な設備の確保、搬入、設置

ウ ア及びイ以外の視覚・音響設備、表示看板類、備品・器具・工具、消耗品等の確保、搬入、設置

エ ステージ、技の体験ブース、製作体験ブース、高校生ものづくり体験ブース等の床面養生（必要な範囲）

オ 進行管理役、司会進行役、機材運営要員、フロアスタッフ等の確保

カ 来場者受付、来場者数カウント、アンケート依頼・回収等

キ 混雑緩和のための措置

ク 写真撮影

ケ ア、イ、ウ及びエに係る撤収及び現状復旧

コ アンケート集計（委託者への速報版提出を含む。）

(9) 事業評価検討会議の開催（事業評価検討結果の取りまとめを含む。）

(10) 事業実施結果報告書の作成・提出

(11) その他必要な事項

傷害・損害保険等への加入（出演者、スタッフ、体験参加者等を対象とする。委託者が措置するものを除く。）等、当日企画の開催に伴い必要な措置

7 主要事項説明

(1) 進捗会議等の開催

ア 目的

企画を的確かつ効果的に実施するため、次の事項について協議・調整する。

(ア) 事業進捗状況の共有

(イ) 課題の共有

(ウ) 企画及び広告の最適化

(エ) 技能五輪推進室始め関係機関・者との調整

(オ) 委託者の承認又は確認が必要な事項並びに委託者へ提出する資料等

(カ) その他必要な事項

イ 開催頻度

毎月1回以上

ウ 開催方法

原則として集合方式とする。

エ 主催

進捗会議は、受託者主導により開催すること。会議開催に当たり、受託者は、議題及び会議資料を取りまとめること。会議結果は、別に定める日までに委託者に提出すること。

オ その他

必要に応じ、適切な時期に当日企画の出展者説明会を開催すること。

(2) 事業実施計画書の作成・提出

ア 内容及び規格

企画提案書に準じた内容及び規格とする。

イ 委託者の承認

別に定める日までに委託者に提出し、その承認を得ること。

ウ 時点修正及び再提出

承認後の内容変更について、必要に応じ随時時点修正を行うこと。なお、委託者から指示があった場合は、最新版を提出すること。

(3) 運営マニュアル等の作成・提出

次の資料を作成し、それぞれ委託者が別に定める日までに提出すること。

ア 当日企画参加案内パンフレット画像データ

当日企画の来場者向けに、アトラクションの内容、対象年齢の目安、実施場所・時間帯、整理券の配布時間・方法等を記載したパンフレットの画像データ（PDF 等）を作成すること。なお、当該パンフレットは、委託者の Web サイト等にて事前に公開する。

イ 当日企画に係る運営マニュアル類

運営マニュアル、進行台本、会場、ブースレイアウト等を作成すること。当日企画の全てのアトラクションに係る出演者・指導者、内容、ステージやブースのデザイン、電源、設備・備品、養生の確認等を主体的に行い、書面化して委託者の確認を得ること。

ウ 当日企画用アンケート様式

委託者と調整し、当日企画用のアンケート様式を作成すること。アンケートの内容は、回答者属性以外は 5 項目程度とし、A 4 判 1 ページに収まることを想定する。詳細は、契約後、委託者及び受託者が協議の上決定する。なお、アンケート結果は、事業評価検討会議において、広告及び当日企画の効果検証や改善点の検討に利用することとなる。このため、アンケート項目は、効果検証及び改善点の分析が容易な構成とする必要がある。

アンケートは、紙又はフォームで実施すること。

(4) 当日企画の広告

ア 内容

当日企画への誘引のため、ターゲットへの訴求力の観点から効果的な媒体、方法、内容及び期間による広告を行うこと。

(ア) 広告チラシ画像データの作成

広告チラシは、委託者及び委託者の関係機関・団体で使用（配布、Web ページへの掲載等）するため、委託者が別に定める日までに画像データ（PDF）を納入すること。併せて、別途協議の上決定する期間内において、委託者や関係団体での使用が可能となるよう、著作権、肖像権等について調整すること。

(イ) その他の媒体・方法による広告

SNS への広告掲示、駅・地下街のデジタルサイネージ、交通広告等により、ターゲット誘引のため効果的な広報を行うこと。広告の媒体、方法、内容、期間等について、委託者が別に定める日までに提出し、承認を得ること。

イ 厚生労働省委託事業の明示

「厚生労働省委託 若年技能者人材育成支援等事業」の語句及び別途提供する厚生労働省ロゴを、可能な範囲で広告コンテンツに明記すること。

(6) 当日企画の実施

ア 実施場所

愛知県国際展示場展示ホール A のうち、委託者が指定する場所（資料 1 参照。平面図案は資料 2 参照）。ただし、技能五輪推進室との今後の調整により、位置及び縦横の距離を変更する場合がある。

イ 実施するアトラクション

(ア) ステージ

(イ) 技の体験

(ウ) 製作体験

(エ) 高校生ものづくり体験

(オ) 国による展示

(カ) 全国大会等 PR

ウ 趣旨及び留意事項

当日企画は、マイスター等の技能を直に見せること、参加者に体験させることにより、当該職種の概要、技能者の技能の高さ、ものづくりの魅力等を感じてもらえる内容とすること。将来の職業像がイメージできるものとし、技能者による実演及び体験がどのように職業に結びつくのか、当該職種に必要とされる技術のどの部分を習得・体験しているのかについて、参加者に理解させるねらいがある。このため、受託者は、ステージアトラクション等において次の事項を参加者に印象付けるよう演出すること。

(ア) 技能者の職業・仕事内容の紹介

(イ) 技能者の実演・製作体験の内容が当該職種の職業像にどのように結びつくのか。

エ アトラクションの構成

実施時間は、午前 10 時から午後 3 時までの 5 時間とする。なお、開場時刻は別途協議して決定する。

現時点で想定しているアトラクションは次のとおりである。会場レイアウトは、資料 2「当日企画開催場所平面図（記載例）」を参考として設計し、提案すること。なお、ステージや各ブースの所要スペースは今後の調整に伴い拡張が予想されることから、契約後に確定した内容に基づき会場レイアウトを再設計すること。

(ア) ステージ

a 内容

製作実演、トークショー、講演、パネルディスカッションその他のアトラクションを実施すること。なお、必ずしも全ての種類を実施する必要はない。また、技の体験や製作体験と同等以上に魅力的な参加型のアトラクションとすること。

b 出演者

ターゲットに向けて訴求性の高い出演者を起用すること。過去の全国大会等のメダリスト、技能者その他の者の出演を希望する場合、受託者はその候補者を可能な範囲で紹介する。

c 構成及び演出

ステージアトラクションの所要時間は、原則として 1 回につき 1 時間程度（交替時間を含む。）を目安にすること。

ステージには、進行管理役、司会進行役、カメラマン、音響係その他必要なスタッフを配置すること。ステージに視覚機器及び音響機器を配置するとともに、カメラで手技や作品をディスプレイ等に映し、音響を活用して観客に訴求すること。

また、技能に対する観客の理解や関心を深め、技能者への共感（親近感、必要性や貢献度の認識等）を高めるよう演出すること。

トークや実演とともに、技能者の想い^(注)を MC との掛け合いで観客に聞かせるなどにより、ものづくりの魅力や技能のすばらしさを訴求するよう工夫すること。

例 当該職業に就いた動機、仕事をする上で心がけていること、顧客との接し方、失敗談、やりがい、職業観等

d 観客席

90 席を確保すること。

e 全国大会等の PR

アトラクションの幕間に、全国大会等のハイライトビデオを映し出すこと。ビデオのコンテンツは、委託者が提供する。

(イ) 技の体験及び製作体験ブース

体験内容及び指導者は、委託者が指定する。現在想定している内容は、次表のとおり。なお、今後の調整により、変更する場合がある。

区 分	体験内容	備 考
技の体験 来場者が、マイスターの技を学び、自身で体験する。（3職種を想定）	石材加工（石材施工）	1 ブース当たりの面積は、W10m×D 7 mを想定。指導者席及び体験スペースを設ける。体験スペースはオープンとし、その造作は、マイスター等が設営する。
	壁塗り（左官）	
	コサージュ又はリース（フラワー装飾）	
製作体験 来場者が、マイスター等の指導の下にもものづくり体験をする。（3職種を想定）	万華鏡製作（ガラス施工）	1 ブース当たりの面積は、W 7 m×D 7 mを想定。指導者席及び製作スペースを設ける。製作スペースには、作業台及び椅子を配置する。各ブース 25 席程度を目安とする。体験時間は、1 回当たり 1 時間程度を目安とする。
	陶磁器の絵付け（陶磁器製造）	
	ゴムはんこ製作（印章彫刻）	

(ウ) 高校生ものづくり体験ブース

来場者が、県内工業高校の生徒の指導の下にもものづくり体験をする。体験内容は未定。出展者は、委託者が指定する。高校生ものづくり体験エリアの面積は次のとおり予定しているが、今後の調整により変更することがある。

高校生ものづくり体験エリア① W26m×D 5 m

高校生ものづくり体験エリア② W26m×D 5 m

高校生ものづくり体験エリア①、②を合わせて、11 ブース程度の出展を予定している。各ブースには、電源 1、作業台、机 180cm×60cm 3 脚、椅子 8 脚程度を配置すること。

エリア内の間仕切りは、必要に応じて当該エリアの出展者が行う。なお、各ブースへの機材等の設置は原則として出展者が行うが、受託者にその補助を求める場合がある。ブース数、所要設備等の詳細は、契約後に調整する。

受託者は、体験内容及びブースのレイアウト案を出展者から受託者に提出させ、これに基づきブース内の配置を行うものとする。

(エ) 展示ブース

委託者展示用の 1 ブースを予定している。面積は、W 5 m×D 4 m程度を想定する。展示ブースには、ビデオ上映のため小規模な視聴覚機器（モニター、ビデオ再生機、スピーカー等）を 1 セット用意すること。展示ブースに、チラシ配架用のテーブル、掲示用レール、参観者用椅子 6 席程度、掲示物用照明（スポットライト等）を設置すること。なお、ブース内へのパネル等の設置は、原則としてブースの出展者が行うが、受託者にその補助を求める場合がある。詳細は、契約後に調整する。展示内容は、次のとおり想定している。

全国大会ポスター等の掲示、過去の全国大会等ハイライトビデオ上映、技能検定等のチラシ配架、メダル撮影スポット設置等

(オ) 全国大会等 P R コーナー

全国大会等の意義、内容等を来場者に訴求するため、動画上映、ポスター掲示、全国大会等における過去の作品展示等の内容、レイアウト、演出について提案すること。なお、視聴覚的な訴求力の高さの点から、動画上映は必須とする。

上映・展示する動画、ポスター等について、厚生労働省が制作し公開するものは、可能な範囲で契約後に委託者が受託者に提供する。

提案に作品等の展示を含める場合は例示とし、内容は、契約後委託者と受託者が協議して決定する。

カ 付帯設備

(ア) 各ブースへの看板設置

各ブースには、体験内容及び出展者名を看板にて表示（墨文字で可）すること。なお、委託者の展示ブースはカラーとすること。

(イ) 来場者休憩用スペース

会場内に来場者休憩スペースを複数箇所設け、全体として 60 脚程度の椅子を配置すること。

(ウ) バックヤード

材料・資材等の一時保管、ステージアトラクションの準備、スタッフの休憩等のためのバックヤードを設けること。

(エ) 案内パネルの設置

来場者が、ステージ及び各ブースの場所、内容、実施時間、出演者・指導者等が視認できるよう、会場周辺の通路及び会場内に十分な数量の案内パネルを設置すること。

(オ) 総合案内

総合案内カウンターを設置し、後述の業務を行うこと。なお、待ち行列が発生する可能性があるため、カウンター前には十分な待ちスペースを確保すること。

(カ) その他必要な設備

キ 会場設営等に係る制限事項

会場設営、撤去作業は使用できる場所及び時間帯に制限があるため、注意すること。なお、ここに示す制限については、契約後、委託者、受託者及び技能五輪推進室が協議して変更する場合がある。

(ア) 前日に会場設営を行う場合

a 午前 10 時以前に搬入・設営を開始する場合に行うべき作業

赤色斜線部分には何も設営しないこと。

赤色実線の位置にパーテーション又は目隠し幕（高さ 1,800mm 以上）を設置すること。

赤色破線の位置にポールチェーン等の仕切りを設置すること。

b 午前 10 時から午後 4 時まで（技能五輪全国大会開会式中）

一切の作業を停止し、音を出さないこと。

c 午後 4 時以降

平面図案の赤色実線及び青色実線の位置にパーテーション又は目隠し幕（高さ 1,800mm 以上）を設置すること。

平面図案の青色破線の位置にポールチェーン等の仕切りを設置するとともに、式典会場への進入禁止の表示をすること。

(イ) 当日の搬入・設営

- a 午前8時（予定）から実施可能
- b 搬入には運搬車両を進入しないこと。

(ウ) 撤去・原状回復

- a 運搬車両が進入する場合は、通路部分を養生又は事後清掃すること。
- b 当日中に完了すること。

ク 付帯業務

(ア) 総合案内

総合案内には十分な人数のスタッフを配置し、次の業務を行うこと。

- a 来場者からの問い合わせ対応
- b 参加案内パンフレット配布
委託者が印刷し、受託者に提供する参加案内パンフレットを来場者に配布すること。
- c アトラクション参加整理券配布
整理券は受託者が用意し、一度に配布終了とならないよう配布時間帯を分散させること。
- d 委託者主催催事関係記念品引換
委託者は、本業務とは別に実施する催事にて当日企画に来場した際の記念品引換券を配布する予定である。このため、総合案内にて記念品引換を行うこと。なお、当該記念品については、委託者の負担により必要な物品を確保し、受託者に提供する。
- e その他必要な業務

(イ) 会場運営業務

十分な人数のフロアスタッフを配置し、次の業務を行うこと。

- a 開場前に待ち行列が生じた場合は、その整理誘導を行うとともに、希望者に参加案内パンフレット（委託者が印刷し、受託者に提供）を配布すること。
- b ステージ及び各ブースでの参加受付及び待ち行列の整理誘導を行うこと。
- c アンケートの記入依頼及び回収を行うこと（高校生ものづくり体験エリア内ブースを除く。）。なお、数値目標に対する実績は、アンケートの回収数となることに留意すること。
- d 来場者数のカウント
全てのアトラクションごとに、観客数（立ち見客を含む。）をカウント（目視で可）すること。
- e 写真撮影
写真撮影（設備設置状況（開始前）について16点以上、開催中の全体風景5点以上、全てのアトラクションについて各8点以上）すること。なお、撮影の際は、来場者が特定できないよう配慮すること。
- f その他必要な業務

ケ 混雑緩和対策

総合案内、ステージ及び各ブースには、混雑時に備えて十分な広さの待ちスペースを設けるとともに、フロアスタッフ等により来場者を適切に誘導又は案内すること。

コ 厚生労働省委託事業の明示

会場に、「厚生労働省委託 若年技能者人材育成支援等事業」の語句及び別途提供する厚生労働省ロゴを表示するとともに、ステージアトラクションの際に紹介するなどにより、観客に銘記させること。

サ 企画を効果的なものとする工夫

(ア) 会場レイアウト

会場レイアウトについて、例えば「ステージ」、「技の体験エリア」、「製作体験エリア」及び「高校生ものづくり体験エリア」に分けるなど、来場者の動線を考慮し、参加しやすいデザインとすること。なお、各ブース（高校生ものづくり体験エリアを除く。）はポールチェーンで区割りするなど、領域が視認しやすいよう、かつ一体感が出るよう工夫すること。

(イ) 自発的・積極的な参観・体験の促し

来場者（子ども）が、積極的にステージの参観や制作体験をするよう促すとともに、一人が同じ体験に複数回参加しないよう工夫すること。

例 スタンプラリーを行い、次の条件をクリアした小中学生等に賞状と記念品をプレゼントする。

【条件】 展示ブース参観＋ステージ参観 1 回＋製作体験 1 職種（高校生ものづくり体験ブースを含む。）＋技の体験 1 職種を体験

なお、スタンプカードや記念品の配布カウンターを設置する場合は、受託者にて設置・運営（スタンプの製作を含む。）を行うこと。

シ アンケート集計

アンケートは、紙又はフォームで実施すること。アンケートを集計後、別に定める日までに委託者に提出すること。併せて、アンケートデータをエクセルファイル又はCSVデータにより委託者に提出すること。

(8) 事業評価検討会議の開催

ア 目的

次の事項について、情報共有、検討、協議及び評価を行う。

(ア) アンケートの回答内容、目標達成状況等の共有

(イ) 広告の効果検証

(ウ) 当日企画の効果検証

(エ) 全般的な評価

(オ) 今後に向けた改善点

委託者及び受託者がそれぞれ改善点を取りまとめること。

(カ) その他必要な事項

イ 開催期限

令和7年11月7日（金）

ウ 方法

原則として集合形式とする。

エ 主催

事業評価検討会議は、受託者が主導して開催すること。会議開催に当たり、受託者は、会議資料を取りまとめること。会議結果は、別に定める日までに委託者に提出すること。

オ 事業実施結果報告書への反映

事業評価検討会議結果を取りまとめ、事業実施結果報告書に編纂すること。

(9) 事業実施結果報告書の作成・提出

ア 内容

事業実施結果報告書には、次の内容を含めること。

(ア) 事業実施計画

事業実施計画書の内容を最新化して編纂するとともに、当日企画の運営マニュアル、進行台本等を含めること。

(イ) 全体スケジュール

予定と実績を併記すること。

(ウ) 進捗会議等議事録

出展者説明会を開催した場合は、その議事録を併せて掲載すること。

(エ) 広告実績

媒体及び方法ごとに、内容（デザイン）、期間、数量等の実績を記載すること。なお、視聴数、アクセス数等が取得できる場合はその数値を記載すること。併せて、当日企画におけるアンケートのうち、当日企画を認知した媒体に係る集計結果を記載すること。

(オ) 当日企画の開催状況

a 会場平面図

b アトラクションのタイムテーブル

c アトラクションごとの来場者数

d アトラクションごとの参加者数（アンケート基準）

e 写真

設備設置状況（開始前）について16点以上、開催中の全景5点以上、アトラクションごとに8点以上

f 会場設営等スケジュール（実績）

g 設備及び材料一覧

h その他必要な資料

(カ) 当日企画に係る成果目標達成状況

a 目標値及び実績値

b アンケート集計結果（全体及びアトラクションごと）

(キ) 賞状、記念品等の進呈数（実施した場合）

(ク) 評価及び改善点

事業評価検討会議議事録並びに委託者及び受託者が提出する改善点を取りまとめて記載すること。

(ケ) 所要費用明細書

項目の構成は、企画提案書に添付した経費積算書に準じた内容とすること。

イ 規格及び数量

(ア) サイズ

企画提案書に準じる。

(イ) 納品物

紙印刷物2部（カラー印刷）及びその電子データを記録したCD又はDVD1枚

ウ 提出期限

別に定める日

エ その他

提出された事業実施結果報告書の内容について、委託者は、修正を指示する場合がある。

(7) 提出書類一覧

受託者は、次の書類を作成し、委託者に提出すること。

なお、委託者は、本表に示す書類以外について受託者に提出を求めることがある。

題 名	内 容	媒体及び数量	提出期限
事業実施計画書	内容及び規格は、企画提案書に準じる。なお、内容を随時時点更新すること。	紙印刷物 2 部及び電子ファイル一式	契約締結後 10 営業日以内。その後、内容の変更（軽微なものは除く。）が生じた場合は、その都度更新して提出
進捗会議結果報告書	議事録及び会議資料	電子ファイル一式	会議開催日から 5 営業日以内
当日企画運営マニュアル類	運営マニュアル、進行台本、会場レイアウト、スタッフ一覧、タイムテーブル等	紙印刷物 2 部及び電子ファイル一式	令和 7 年 7 月 4 日
当日企画用アンケート	様式	電子ファイル一式	令和 7 年 7 月 15 日
広告物	デザイン、媒体、形状等	電子ファイル一式	広報開始の 2 週間前
当日企画広告チラシ	デザイン	電子ファイル一式	令和 7 年 7 月 31 日
当日企画参加案内パンフレット	デザイン	電子ファイル一式	令和 7 年 9 月 20 日
アンケート集計結果（速報版）	当日企画について、アンケート結果（当日企画の来場者数を含む。）を、アトラクション別及び全体で集計（自由意見の一覧を含む。）	紙印刷物 2 部及び電子ファイル一式。集計元データ（エクセルファイル）を含む。	令和 7 年 10 月 31 日
当日企画写真	データファイル	全て	令和 7 年 10 月 31 日
事業評価検討会議結果報告書	議事録及び会議資料	電子ファイル一式	会議開催日から 7 営業日以内
事業実施結果報告書	別に定める内容	紙印刷物 2 部及び電子ファイル一式を記録した CD 又は DVD1 枚	令和 7 年 11 月 21 日
その他	上記以外に委託者から提出を求められた書類	別に定める方法	別に定める時期

注 1 上記の日程は、委託者と受託者が協議の上、変更する場合がある。

2 電子ファイルの提出方法について、明示がないものはファイル共有又はメール添付によること。メール添付の場合は、必ずファイルの暗号化及びパスワード保護を行うこと。

(8) 費用負担

ア 委託者が負担する費用

次の費用は、委託者が負担する。

(ア) 広告チラシ等の印刷費

広告チラシ及び当日企画参加案内パンフレットの印刷費

(イ) 当日企画関係

- a 占用エリアに係る会場使用料、光熱水費及び清掃費
- b 技の体験ブース及び製作体験ブースにおける指導者及び補助者の謝金、旅費及び傷害保険料（事前打合せに要するものを含む。）
- c 技の体験ブース及び製作体験ブースで使用する材料費
- d 高校生ものづくり体験エリアのブース出展に係る資材運搬費、材料費、物品の賃借料及び消耗品費並びに出展者の交通費及び飲食費（謝金は不支給とする。）
- e 展示ブースに展示するコンテンツの調達及び搬入・設営・撤去に要する費用
- f 本業務とは別に委託者が実施する催事等において引換券を配布する記念品の調達費

(ウ) その他委託者が別途指定する費用

イ 受託者が委託費の中で負担する費用

この業務の実施に必要な経費のうち、アを除く全ての経費は受託者の負担とする。

全国大会等PRコーナーに作品を展示する場合の輸送費、設置費、損害保険料等は受託者が負担すること。

また、ステージ出演者等の謝金、旅費及び材料費の上限額は、委託者と受託者が協議して決定する。目安の額として、次のとおり想定している。

（謝金）

- ①パネルディスカッションのコーディネーター 50,000 円＋税（厚労省規定上限）
- ②パネリストのうち学識経験者、企業の部長以上、現代の名工、全技連マイスター及びその他これらに相当する長年の実務経験に裏打ちされた熟達した高い技能・知識を有する者（ものづくりマイスターでない者を含む。） 28,000 円＋税（事前打合せ3時間、出演1時間 7,000 円×4時間）
- ③パネリストのうちものづくりマイスターであって、②以外の者 24,400 円＋税（事前打合せ3時間、出演1時間 6,100 円×4時間）
- ④パネリストのうち②及び③以外の者（原則として熟練技能者の要件に該当する者とする。） 18,000 円＋税（事前打合せ3時間、出演1時間 4,500 円×4時間）

なお、上記の謝金額は、ステージにて行う講演、製作実演等に準用する。

（旅費）

- ・公共交通機関の運賃、有料道路代、駐車料は実費
- ・自家用車使用の場合の車賃は、1 km 当たり 25 円を乗じた額

（材料費）

- ・出演者がステージ上で実演する場合 上限 50,000 円＋税
- ・参加者が体験する場合 上限 1,500 円＋税（税別）

8 その他の注意事項

(1) 関係機関・団体との調整

広告及び当日企画開催に必要な調整及び交渉は、受託者が主体的に実施すること（当日企画におけるステージアトラクション及び各ブースに必要な個別の電源、看板、机・椅子等の設備、養生、レイアウト等に係る調整・確認を含む。）

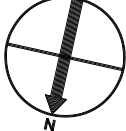
なお、委託者は、可能な範囲でこれを支援する（例 文書等による相手方への協力依頼、訪問時の同行など）。

(2) 厚生労働省への報告

受託者から委託者に提出された資料は、厚生労働省と委託者との契約に基づき、厚生労働省に提出する場合がある。

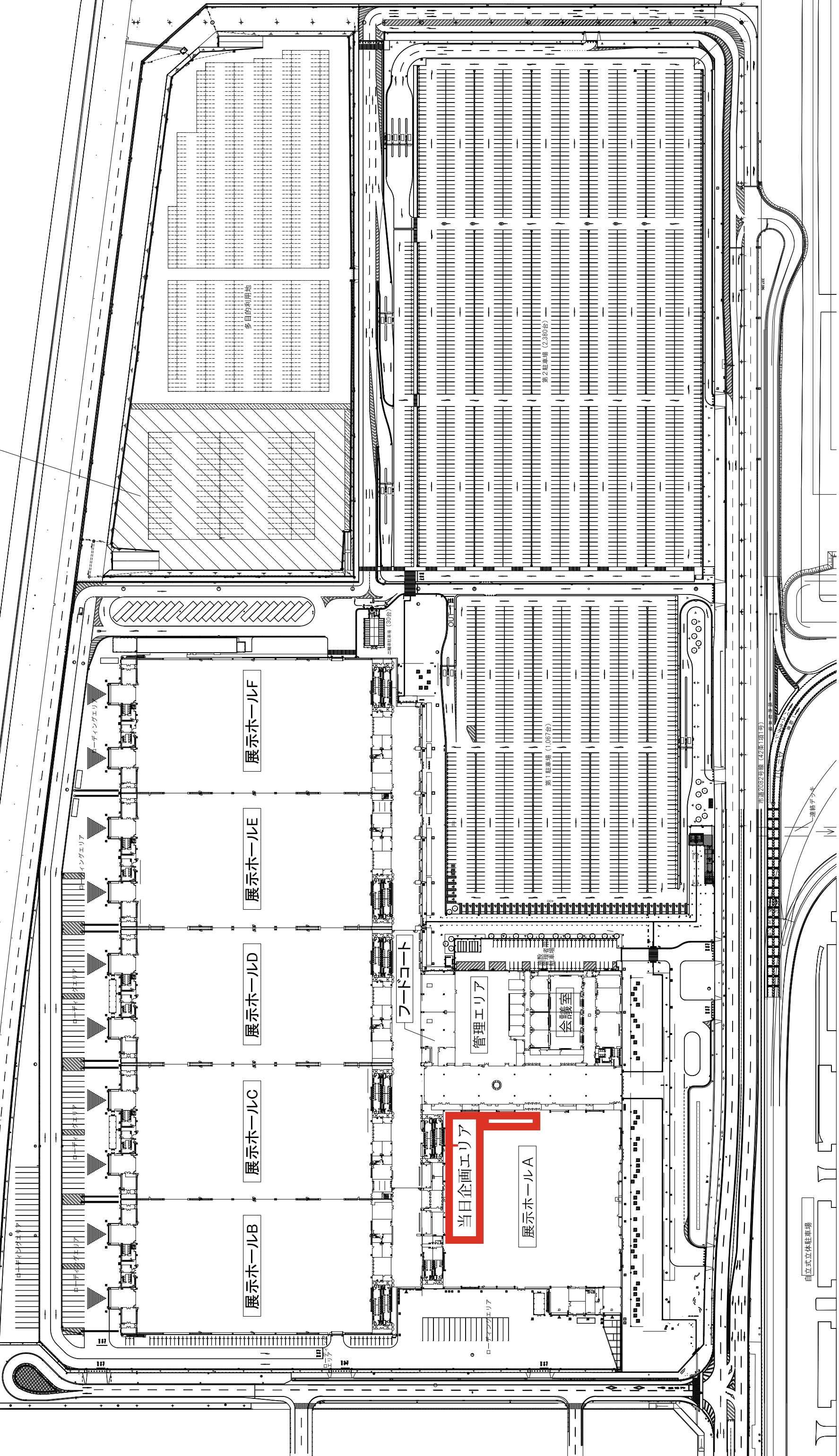
9 契約後の事業内容変更

契約後、受託者の責に帰すべきでない事情により事業内容を変更する場合（出演者の事情による出演キャンセルや、より効果的な企画にするための改善等）は、契約金額内において委託者と受託者が協議して決定する。なお、受託者は、企画提案と同等以上の効果が得られるよう最大限努力するものとする。



伊勢湾

大型車対応スペース



自立式立体駐車場

連絡通路

複合商業施設

